

製 品 安 全 デ ー タ シ ー ト

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称：塩化水素水溶液

製 品 名：ホイラーF

推奨用途と使用上の制限：金属の錆、スケール落とし用

【製造元】

会 社 名：株式会社 デルタケミカル

住 所：〒223-0066 神奈川県横浜市港北区高田西 3-19-3

【発売元】

会 社 名：株式会社 オーデック

担当部署：金属処理製品部

住 所：〒143-0022 東京都大田区東馬込 2-19-10 第7下川ビル

電話番号：03-3774-5259 FAX番号：03-3776-0881

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】 ※分類対象外、分類できないは省略

引火性液体	: 区分外
自然発火性液体	: 区分外
自己発熱性化学品	: 区分外
水反応可燃性化学品	: 区分外
急性毒性(経口)	: 区分4
急性毒性(経皮)	: 区分外
急性毒性(吸入; 粉じん)	: 区分4
皮膚腐食性/刺激性	: 区分1
眼に対する損傷性/刺激性	: 区分1
呼吸器感作性	: 区分1
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	: 区分1(呼吸器系) 区分2(全身毒性) 区分3(気道刺激性)
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	: 区分1(歯、呼吸器系)
水生環境急性有害性	: 区分2
水生環境慢性有害性	: 区分2

【GHSラベル要素】



【注意喚起語】

危険

【危険有害性情報】

- ・飲み込むと有害
- ・吸入すると有害
- ・重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
- ・吸入するとアレルギー、ぜん息又は呼吸困難を起こすおそれ
- ・臓器(呼吸器系)の障害
- ・臓器(全身毒性)の障害のおそれ
- ・呼吸器への刺激のおそれ
- ・長期または反復暴露による臓器(歯、呼吸器系)の障害
- ・水生生物に毒性
- ・長期継続的影響により水生生物に毒性

【注意書き】

《安全対策》

- ・取扱い後、手をよく洗うこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- ・換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- ・必要な時以外は、環境への放出を避けること。

《応急措置》

- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させこと。直ちに、医師に連絡すること。
- ・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに、医師に連絡すること。
- ・皮膚(または髪)にかかった場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
- ・汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに、医師に連絡すること。
- ・暴露した場合：医師に連絡すること。
- ・気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。
- ・漏出物を回収すること。

《保管》

- ・施錠して保管すること。
- ・換気の良いところで保管すること。容器を密閉しておくこと。

《廃棄》

- ・内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

成分名	含有量 %	CAS No.	官報公示整理番号	P R T R	備考
水	50～60	7732-18-5			
石灰窒素	25～30	156-62-7	1-121	1-77	カルシウムシアナミド含有
塩化水素	10～20	7647-01-0	1-215		劇物
ノニオン系界面活性剤	5.0 以下	非公開	既存		
腐食抑制剤	5.0 以下	非公開	既存		

4. 応急処置

吸入した場合 : 被災者を直ちに新鮮な空気のある場所へ移動させ、保温・安静にし、必要に応じて医師の診断を受けること。呼吸が不規則または止まっている場合は、衣類を緩め呼吸道を確認して人工呼吸を行い、直ちに医師の処置を受けること。嘔吐物を飲み込ませない様にする。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類、靴などを速やかに取り除き、製品に付けた部分を大量の水及び石鹸水で十分に洗浄すること。

皮膚等に変化が見られたり、炎症を生じた時には直ちに医師の処置を受けること。

眼に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分以上洗眼した後、速やかに眼科医の処置を受けること。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行き渡るように洗眼すること。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗眼すること。

すぐに痛みが無く視力に影響が無くても障害が遅れて現れることがあるので、必ず医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合 : 意識のある場合は多量の水または牛乳を飲ませ、医師の処置を受けること。意識のない場合は、口から何も与えずに直ちに医師の処置を受けること。

応急処置をする者の保護 : 適切な保護具(保護眼鏡、防護マスク、手袋等)を着用する。

5. 火災時の処置

消火剤 : 製品は非引火性なので、周囲の火災に応じた消火剤を使用すること。

使ってはならない消火剤 : 情報無し

特定の消火方法 : 周辺火災の場合は、容器を安全な場所へ移動する。

熱分解により刺激性、腐食性または毒性のガスを生じる可能性があるため、空気呼吸器、化学用保護服などを着用すること。

6. 漏出時の処置

人体に対する注意 : 接触や吸入を避けるため、漏れた付近の周囲から人を退避させる。

事項、保護具及び : 屋内の場合は処理が終わるまで通風等により換気をよく行うこと。

緊急措置 : 作業者は保護手袋、保護眼鏡、保護服を着用すること。

環境に対する : 流出した内容物が河川等に排出されない様に注意すること。

注意措置 : 漏出物を直接、河川や下水に流さないこと。

回収、中和、封じ : 乾燥砂、土、その他不燃性の物に吸着させて、密閉できる空容器に回収すること。

込めおよび浄化 : 大量の流出には盛り土で囲って流出を防止する。

方法と機材 : 汚染箇所は炭酸ナトリウムや消石灰などで中和して、多量の水で洗浄する。

付着物・廃棄物等は関係法規に基づいて処置する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：眼、皮膚、粘膜との接触を避けること。

ミストなどを吸入しないこと。

適切な保護具を着用すること。

取扱い後は手をよく洗うこと。

換気の良い場所で使用すること。

注意事項：用途以外には使用しないこと。

人体に使用しないこと。

その他、表示された使用上の注意を守ること。

安全取り扱い：容器の転倒、落下など衝撃を加えないこと。

注意事項 直射日光の当たる場所に放置しないこと。

保管

技術的対策：もとの容器で保管すること。金属製容器は腐食するので使用しないこと。

フタをきちんとして、密閉して保管すること。

日光の当たらない、涼しい、換気の良い場所で施錠して保管すること。

子供の手の届かないところに保管すること。

その他、表示された保管上の注意を守ること。

混触禁止物質：アルカリ物質、強酸化剤、金属類

安全な保管条件：0℃以下にならない場所で施錠して保管すること。

安全な容器包装材料：樹脂容器(販売時に提供された容器)またはガラス容器

8. 暴露防止及び保護処置

管理濃度・許容濃度：

成分名	管理濃度	日本産業衛生学会	ACGIH(TLV-TWA)
水			
石灰窒素			
塩化水素		5ppm、7.5mg/m ³ (2009年版)	2ppm(天井値、2004年版)
ノニオン系界面活性剤			
腐食抑制剤			

設備対策：許容濃度超える場合は局所排気設備の設置が必要。

長時間取り扱う場合、給排気が十分にとれ暴露を受けない設備にすること。

保護具：呼吸器用の保護具；防塵マスク。暴露の可能性があるときは送気マスク、空気呼吸器等。

手の保護具；保護手袋(耐酸性手袋)

目の保護具；保護眼鏡(側板付きまたはゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具；化学用保護服(耐酸スーツ)。必要に応じて、保護前掛け、保護長靴。

9. 物理的及び化学的性質

形 状	液体
色	無色～黄色
臭 い	弱い塩素臭
p H	1～2
融点・凝固点	約0℃
沸 点	約100℃
引火点	なし
爆発範囲(爆発限界)	なし
蒸気圧	情報無し
密度(20℃)	約1.2
溶解度	情報無し
n-オクタノール/水分配係数	情報無し
自然発火温度	情報無し
分解温度	情報無し
臭いの閾値	情報無し
蒸発速度	情報無し
燃焼性	情報無し

10. 安定性及び反応性

化学的安定性 : 通常の使用・保管条件では安定だが、高温では塩化水素ガスが発生する。

危険有害反応性の可能性: アルカリ物質と激しく反応する。強酸化剤と反応し塩素ガスを発生する。反応性金属類(アルミニウム、亜鉛など)と反応し爆発性の水素ガスを発生する。

避けるべき条件 : アルカリ物質、強酸化剤、反応性金属類との接触。日光、高温。

混触危険物質 : アルカリ物質、強酸化剤、金属類

危険有害性のある分解生成物: 分解や化学反応により塩素ガス、塩化水素ガス、水素などが生成する。

11. 有害性情報

成分名	LD50M	LD50S	LC50R	皮	眼	呼	変	発	生	単	反	吸
水												
石灰窒素(カルシウムシアナミド)	403	2800	>6.5mg/L	2	1		外	外		2&3		
塩化水素	238～277	>5010	1.68mg/L(1H)	1	1	1(呼)、外(皮)		外		1	1	
ノニオン系界面活性剤												
腐食抑制剤												

※略記号(データ及びGHS区分)

LD50M: 経口(主としてラット)mg/kg、LD50S: 経皮(主としてウサギ)mg/kg、

LC50R: 吸入(主としてラット)ppm、皮: 皮膚腐食性・刺激性、眼: 眼に対する損傷性/刺激性、

呼: 呼吸器感作性または皮膚感作性、変: 生殖細胞変異原性、発: 発がん性、生: 生殖毒性、

単: 特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)、反: 特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)、

吸: 吸引性呼吸器有害性

※分類対象外、分類できないは省略

1 2. 環境影響情報

生態毒性 : 石灰窒素(カルシウムシアナミド) ; EC50=7.7mg/L/48H(オミジッコ)
塩化水素 ; EC50=0.492mg/L/48H(オミジッコ)

残留性/分解性 : 情報無し

生物蓄積性 : 情報無し

土壤中の移動度 : 情報無し

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託してください。

汚染容器・包装 : 同上。

1 4. 輸送上の注意

国際規則 : 航空輸送は I A T A 及び海上輸送は I M D G の規則に従う。

国連番号 : U N 1 7 8 9

国連品名 : 塩酸 (HYDROCHLORIC ACID)

国連分類 : C l a s s 8

容器等級 : P G II

副次危険性等級 : 非該当

海洋汚染物質 : 非該当

国内規則 : 陸上輸送 ; 消防法、労働安全衛生法等の輸送について定めるところに従う。
海上輸送 ; 船舶安全法の輸送について定めるところに従う。
航空輸送 ; 航空法の輸送について定めるところに従う。
緊急時応急措置指針番号 ; 1 5 7

1 5. 適用法令

消防法 : 非該当

労働安全衛生法 :

施行令別表第1(危険物) 非該当

施行令第18条(名称等を表示すべき危険物及び有害物) 非該当

施行令第18条の2別表第9(名称等を通知すべき危険物及び有害物) カルシウムシアナミド、塩化水素
有機溶剤中毒予防規則 : 非該当

特定化学物質障害予防規則 : 第3類 ; 塩酸

化学物質管理促進法 : 指定化学物質リスト(P R T R 法) 第一種 ; カルシウムシアナミド
毒物及び劇物取締法 : 劇物 ; 塩化水素含有

航空法 : 施行規則第194条 腐食性物質

船舶安全法 : 危規則告示別表第1 腐食性物質

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手した情報に基づいて作成していますが、記載のデータや評価に関してはいかなる保証をなすものではありません。

注意事項は、通常取り扱いを対象としたもので、特別な取り扱いをする場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、取り扱い願います。

引用文献等

(独)製品評価技術基盤機構公表GHS分類結果
I C S C 国際化学物質安全性カード
